

校長室だより

NO.19 平成29年2月28日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「啓蟄（けいちつ）」

3/6 頃二月節 太陽視黄経 345 度

陽気地中にうごき、ちぢまる虫、穴をひらき出れば也（暦便覧）

啓蟄は冬眠をしていた虫が穴から出てくる頃という意味。実際に虫が活動を始めるのはもう少し先。柳の若芽が芽吹き、落のとうの花が咲く頃である。

3学期は学年のまとめに、各学年いろいろな学習に取り組んでいます。



5年生は和楽器の体験と鑑賞をしました。多くの子どもは、初めて琴を弾いてみたり、尺八を吹いてみたりしました。日本の伝統文化に触れる機会を提供いただいた皆さま、ありがとうございます。

4年生は、2学期から総合学習の取り組みで国際理解学習を行っています。外国や日本で活躍する方の聞き取りを通して、いろいろな国の文化に触れ、ちがいについて考えています。

外国にルーツのあるお友だちの保護者の方と、外国語授業で学校に来ていただいているマリア先生からフィリピンの良さや日本の良さについてお話を聞きました。



2年生は授業参観で、合奏や音読、とびばこや縄跳びの映像で、この1年間の成長をふりかえりました。また、小学校英語教材DREAMの学習を参観いただきました。合奏では、鍵盤ハーモニカだけではなく、木琴、カスタネット、すず、トライアングルの楽器で、「こぎつね」を演奏してくれました。

いろいろな体験を通して、今までの学習を深めてくれています。また、多くの人とふれあうことでも、自分が気づいていないことも気づくきっかけになります。いろいろな体験から意欲・感心をもって学ぶ姿勢を作りたいと考えています。

ご家庭でも、いろいろなことにチャレンジさせてみて、考える経験を増やしてください。今後も、ご協力をお願いします。



校庭の白梅

1年風揚げ

英 岡 學 小 東 縣 立 市 縣 縣